



生産性向上支援訓練利用者の声



株式会社デサン 様

利用コース：

『現場社員のための組織行動力向上』

『組織力強化のための管理』

支援の流れ：

●課題・要望等

事業主様からは創業40周年を迎え

“個 ⇒ 組織（チーム）” “家業 ⇒ 事業”へ変革する節目にあることを理解し、管理者は組織マネジメントと部下の指導・コミュニケーション力の強化を、社員にはフォロワーの役割、上司の補佐や後輩育成などについて学び、“社員一丸 = チーム デサン”となって組織目標と成果を達成（最大化）してもらいたい。この姿の常態化が目指すゴールと伺いました。

雇用調整助成金（含む教育訓練）の支給申請に伴い、所定労働時間フルの8時間の教育訓練を、感染対策が行える自社以外の会場での受講を要望されました。

●提案内容

“訓練目的、現状と課題、要望”をまとめた「提案書」に従い、管理者とフォロワー全社員を対象とする2コース・4回の訓練を短期間で、ポリテク埼玉の施設を利用して行うよう提案。

事業主様の“家業から事業へ”、“自己満足から顧客満足への変化”という思いを理解して共有してもらうため、利用企業、講師との事前レビューをしっかりと行い満足度の高いカリキュラムとテキストに仕上げるべく心掛けました。

特に一般社員には小売店経営や損益分岐点などを通して企業経営の基本を学ぶことを取り入れ、グループワークと発表の場では気づきと意識の変化が芽生えるような導きを講師に依頼。



【事業主の声】 事業主アンケートにて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

■ 訓練利用を利用した経緯・目的

社員には“自分を見るのではなく、仕事を通してお客様を見る（=お客様満足を考える）” “仕事を行えば、経営理念の“皆が幸せになる会社”を実現できると常に話しています。創業して40年の節目に当たり、コロナ禍による事業環境変化に適応して成長を持続するために、この時期にこそ原点の“家業から事業へ”、“自己満足から顧客満足への変化”の意味や価値を全社員が理解し共有して仕事を行えるように、管理職を含む63名の社員を4班/4回に分けて、しっかりとしたウィルス感染対策を行っているポリテクセンター埼玉の施設をお借りして生産性訓練を受講しました。



代表取締役社長 藤池 一誠様

■ 訓練を利用した感想、訓練の内容はどのように職場で活用されているか、今後の抱負

講師2名の方には事前の打合せで事業主の思いを汲み取っていただき、私は2回の訓練に立ち会いましたが、想定した以上に中身が濃く質も高い参加型の訓練を行っていただいたと大変満足しています。特に一般社員は1日の学びにもかかわらず、私が朝礼で繰り返し話していること、何故そうなのかについて分かるようになったことから期待以上の変化を感じています。

そして“会社のお金は、他人のお金から自分のお金と同じ”と捉えて、ムリ・ムダ・ムラを無くすなどの効率的な仕事の積み重ねの結果、自分に返ってくることを理解できたと思っています。

“俺が俺が”という意識がまだ残る社員もいますので、今後「自己満足から顧客満足へ（顧客満足向上）」を理解できる訓練コースを提案していただいて、管理者と一般社員を区別せず一緒に受講して全社員が同じ方向を向けるように注力して参りたいと思っています。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部

ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター）

生産性向上人材育成支援センター

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-18-8 TEL 048-813-1081

URL : https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company_support/seisansei/kunren_seminar.html

ポリテク埼玉 生産性



click!



生産性向上支援訓練利用者の声



【受講者の声】受講者アンケート評価(満足度100%) ※受講者アンケート設問2の回答が「①大変役に立った」及び「②役に立った」と回答した方の有効回答数に対する割合です。

【管理者向け：「組織力強化のための管理」コース】

■ 訓練を受講した感想

個別研修を受けた経験はありましたが、管理職が集合した研修は初めてなので同僚の考えや意見を聞いて参考にもなり、刺激も受けました。また自分のキャリアやゴールを思い描けていない状況で、管理者に必要な知識・手法を改めて学べて役に立ちました。訓練を受けて感じたことは、同じ方向を向ける人と向けない人がいると思いましたが、向けない人を今後どのように向けるようになるか？容易ではないと思いますが、社員みんながベクトルを合わせて仕事をしていくことが肝要と思います。



栗橋工場 島根様

■ 訓練で習得したことの職場・業務での活用や今後どのように活用していきたいか？

理想の上司、理想の会社とはどうあるべきかが改めてよく理解できました。同じ時期に部下もこの訓練を受けたこともあって、訓練後の職場ではちょっとした意見や考えを交わすシーンが見受けられて変化を感じています。部下は「育てて育つ」ので、仕事面だけでなくメンタル面の面倒も見て職場のみんなと一緒に自分も成長していきたいと思っています。

今後は、「ものづくりに関する技術や管理手法」を学べる能力開発セミナーを受講したいと思っています。

【一般社員向け：「現場社員のための組織行動力向上」コース】

■ 訓練を受講した感想

今回の訓練を楽しみにしていました。初めて聞く言葉も多くありましたが分かりやすい説明で理解でき、1日8時間も長く感じませんでした。グループワークでの話し合いや発表が多く、普段接する機会のない他部署の方の考えや意見を聞くことで刺激を受け、同僚の長所にも改めて気づくことが多くありました。



蓮田工場 田中様

■ 訓練で習得したことの職場・業務での活用や今後どのように活用していきたいか？

中堅社員として上司への報連相や部下の指導など漠然とこなす日々でしたが、今回の訓練を受講して「現場をうまく回すにはどうすればよいか」、「上司にどう意見すればよいか」見えてきました。そして今まで“損益分岐点”という言葉を経営部長が度々話しておりましたが、意味と使い方や計算の仕方を、演習交えながら分かりやすく説明していただいたので、製作作業で材料の使い方を見直すなど早速現場で実践しています。

今後は、「チームの効率的な仕事の進め方、部下の指導の仕方」に課題を感じることもありますので、マネジメントや指導に関する研修に興味があります。刺激を受け自分も成長するように、他の企業で同じ立場にいる社員の方々と一緒に研修を受けてみたいと思っています。

